

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本服飾文化振興財団
代表理事 重松理

(はじめに)

服飾は生活の基本である衣食住の一つとして重要なものであり、その文化は人々の喜び・生きがいを与えるものです。本法人は以下の事業を行うことで、一般市民に服飾文化を普及させ、より良い社会生活の構築に寄与するとともに、後世への服飾文化の伝承を図ってまいります。また、本年度も引き続き法人運営基盤の確立に努力いたしました。

(事業)

I 服飾文化の普及・伝承

(1) 服飾資料館の運営

膨大な服飾資料を所蔵する資料館を広く一般市民に無料で開放しております。服飾に係わる現物資料・文献に直接触れることで服飾文化の理解を深めていただき、服飾文化の普及と後世への伝承を図ります。また、所蔵の現物資料を美術館、関係施設・団体への無料貸出しを行い、さらなる服飾文化の普及に努めてまいります。当年度も、以下のように服飾資料館を運営いたしました。

〔開館時間〕

平日 午前 11:00～午後 6:00

〔休館日〕

土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始等

〔入館料、利用料〕

無 料

〔所在地〕

東京都港区赤坂 8-1-19 (日本生命赤坂ビル 8F)

〔スペース〕

所蔵スペース 200 m² 閲覧スペース 200 m²(セミナー・講演の会場にも使用)

〔所蔵品〕

服飾に係わる衣装等現物資料及び書籍雑誌

4, 332 点(展示分) 6, 562 点(保管分)

〔特記事項〕

- ・ 利用者のために館内常駐スタッフを1名配置した。
- ・ 新規資料として、櫛織り帯（9点）を取得した。
- ・ 服飾資料館来館者総数は197名。
- ・ 財団所有の資料による無料の展示会を以下のとおり開催した。
平成28年12月10日から25日までの16日間、所有する全イヴ・サンローランの貴重なヴィンテージ衣装コレクションを用いたバーチャルファッションショーと企画展を実施。（5,321名来場）
- ・ 跡見学園女子大学生生活環境マネジメント学科准教授 横井由利ゼミよりインターン3名を受け入れた。

(2) 服飾に係わる講演会・セミナーの開催

服飾文化の普及とその伝承のため、運営する資料館や全国の公共施設において、一般市民及び服飾デザイナーを対象に講演会・セミナーを無料で開催いたしました。

1. ファッション講演会

著名な服飾デザイナー等の講演会により、多くの一般市民に服飾の魅力や服飾知識を高めてもらうことで、服飾文化の普及・伝承を図りました。

<当年度の実施の講演会>

- (1) テーマ 「 真正日本の美を伝えること、その意味について
～日本人の美意識・精神性の素晴らしさ～ 」

日 時：平成28年10月11日

会 場：京都 ヴィラ九条山 京都市山科区日ノ岡夷谷町17-22

講 師：重松理氏

（ユナイテッドアローズ名誉会長/本法人代表理事）

参加者：80名（一般市民）

参加料：無料

上記を開催した

- (2) テーマ「モノ作りと信条について

～これからのモノづくり・ブランディングに求められること～ 」

日 時：平成28年10月20日

会 場：服飾資料館内セミナースペース

講 師：齋藤峰明氏（現シーナリーインターナショナル代表
元エルメス インターナショナル 副社長）

参加者：100名（一般市民）

参加料：無料

上記を開催した

2. 服飾デザイナー養成セミナー

服飾デザイナーの技能・資質向上を目的とした実践セミナーを開催し、わが国の服飾文化の振興に寄与してまいります。現役の服飾デザイナーや服飾を学ぶ専門学生等を対象として、実践的な内容のセミナー（ワークショップ含む）を開催し、受講者の服飾知識の修得とデザイン技能の向上を図ります。

<今年度のセミナー開催予定>

(1) テーマ デザイナー活動における資料館の活用方法について

日 時 平成 28 年 6 月 30 日

会 場 服飾資料館内セミナースペース

講 師 永森 達昌氏（本法人会長）

参加者 100 名

上記を開催した

(2) テーマ 「和の美のデザイン・ものづくりの目指すもの」

日 時：平成 28 年 9 月 8 日

会 場：服飾資料館内セミナースペース

講 師：重松 理氏

（ユナイテッドアローズ名誉会長/本法人代表理事）

参加者：122 名

参加料：無料

上記を開催した

(3) テーマ デザイン着想：「社交術としてのお洒落とは」

日 時：平成 29 年 2 月 20 日

会 場：服飾資料館内セミナースペース

講 師：紀 葉子氏（東洋大学 社会学科教授）

重松 理氏

（ユナイテッドアローズ名誉会長/本法人代表理事）

参加者：100 名

参加料：無料

上記を開催した

Ⅱ 若手服飾デザイナーへの助成

1. 助成事業

服飾界の将来を担う若手服飾デザイナーの創作活動を助成支援することで、わが国の服飾文化の振興に寄与ことを目的に、公正な選考基準により選考し、本年度は以下、1名を助成金支給者としました。

平成 28 年度助成金選考委員会について

・ 選考委員：

重松 理氏

(ユナイテッドアローズ名誉会長/本法人代表理事)

竹田 光広氏

(ユナイテッドアローズ代表取締役社長執行役員/本法人評議員)

相澤 陽介氏

(サーティーンワークス代表取締役/ホワイトマウンテニアリングデザイナー)

・ 助成金支給者：日高琴葉氏（25 歳）（ファッションデザイナー）

・ 支給理由：服作りの基本を理解した上で商品製作にあたり、自身の感性と作品化への即効性に拘りながら、常にお客様と向き合い、商品の製造をされており、ブランド継続の将来性を感じた。またものづくりに関して、サンプル作成、産地、工場との取り組みは、自己表現にあたる創造的活動と公益性が高いと評価し、助成対象に値すると判断した。

・ 助成金額：¥1,000,000-

尚、助成後は「完了報告書」「会計報告書」の提出を義務付けております。

以上